

デザイン／ shiroi maru 吉谷 伶美

出来上がりサイズ

【A】幅約 9cm × 高さ約 10cm

【B】幅約 9cm × 高さ約 9cm

<使用道具>

18-018 ぬい針「絆(きずな)」普通地用
短針8(三ノ三)

<https://clover.co.jp/products/24412>

24-412 水性チャコペン<青 細>
<https://clover.co.jp/products/24412>

25-053 方眼定規<30cm>

36-666 カットワークはさみ115

57-247 手芸用かんし

21-131 なめらか目打

58-431 クロバーボンド<多用途・速乾>

待針

<材料>

ボア生地(パウダーボア・毛足約4mm)

【A】ホワイト・【B】ベージュ 30×25cm

手芸綿

さし目(4mm) 2個

さし鼻(4.5mm) 1個

手縫い糸



★あると便利

57-804
わた詰めツール
<スモール>



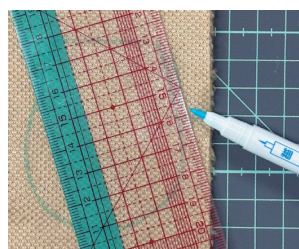
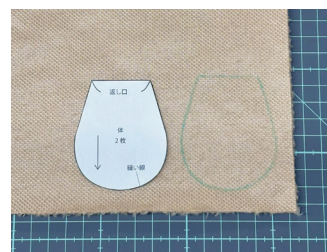
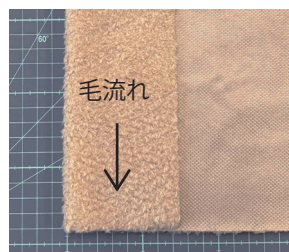
<作り方>

①体、頭、耳、手、足、しっぽのパーツを裁断します。

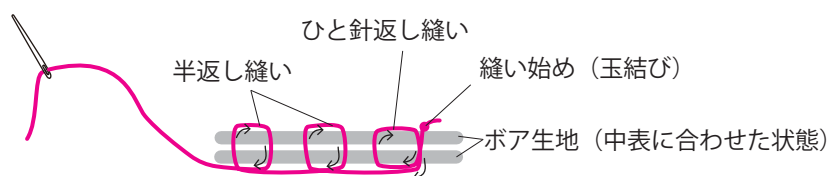
(1)実物大型紙(P3)を使って生地に縫い線を描きます。
ボア生地には毛の流れる方向があるので、生地の表を見て毛流れを確認し、生地の裏側にしるしを描きます。

(2)方眼定規を使ってぬいしろ3mmの線を描きます。
定規の5mmの線を目安にしてください。
ところどころ3mm測ってしるしを付け、そのしるしをつなぐようにフリーハンドで線を描いても大丈夫です。

(3)ぬいしろ線に沿ってカットします。



②それぞれのパーツを中表に合わせ、返し口のしるしから半返し縫いで縫っていきます。
最初は1針返し縫いをします。
一周縫って返し口のしるしまで来たらひと針返し縫いをして玉どめし、糸を切ります。



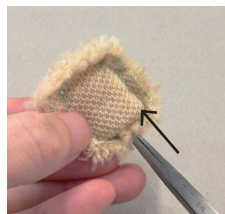
【手縫いの基礎動画 5】
半返し縫いのやり方

<https://clover.co.jp/movie/tenuikiso05>

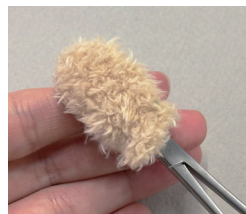
- ③それぞれのパーツを返し口から表に返します。
手芸用かんしを使うと便利です。



袋状になっている底の部分の
ぬいしろを手芸用かんしではさむ
(柄を軽く握ってロックする)



かんしを中へ押し込む
ようにしてひっくり返す



表に返せたら柄を軽く握り
かんしのロックを外す



何もはさんでいない状態の
かんしをもう一度中に入れ、
カーブがきれいに出るように
内側から軽く押す

※表に返したら、縫い込まれている毛をなめらか目打でやさしく
かき出すと、縫い目も目立たなくなりきれいになります。



- ④頭、体、手、足パーツに手芸綿を詰めます。
「手芸用かんし」や「わた詰めツール<スモール>」を使うと便利です。

- ⑤目と鼻の位置を決め、なめらか目打で穴を開けます。
さし目とさし鼻にボンドをつけて、穴に差し込み接着します。

- ⑥耳のパーツの返し口のぬいしろを内側に折り込みます。
耳の位置を決め、待針で固定します。
巻きかがりで2周縫い付けます。



- ⑦頭パーツと体パーツをつなぎます。
付ける位置を決め、待針で固定します(それぞれ返し口のぬいしろは内側に折り込んでおきます)。
巻きかがりで2周縫い付けます。

- ⑧手と足のパーツを体パーツに縫い付けます。
手足のパーツの付け方によって、ポーズを変えることができます。
見本作品の【A】は立っているポーズ、【B】は座っているポーズです。
付ける位置を決め、待針で固定します(返し口のぬいしろは内側に折り込んでおきます)。
巻きかがりで2周縫い付けます。

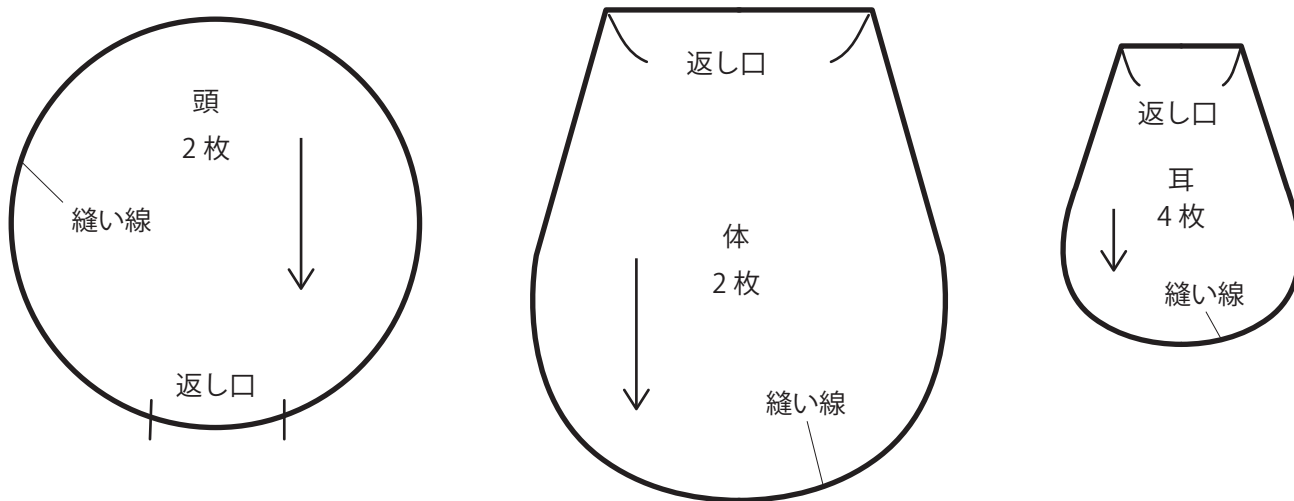
- ⑨しっぽパーツを付ける位置を決め、待針で固定します
(返し口のぬいしろは内側に折り込んでおきます)。
巻きかがりで2周縫い付け、完成です。



<実物大型紙>

生地を裁断するときは、すべてぬいしろを 3mm 付けてください。

※矢印は生地の毛の流れの方向です。



※手・足の2枚、しっぽの1枚は
型紙を裏返して(反転させて)しるしを付けます。

